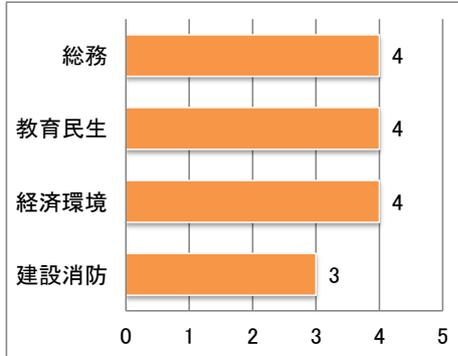


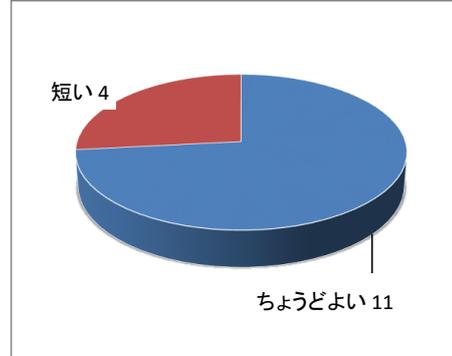
高松第一高校生との意見交換会
アンケート集計結果

参加人数：15人（アンケート提出人数15人）

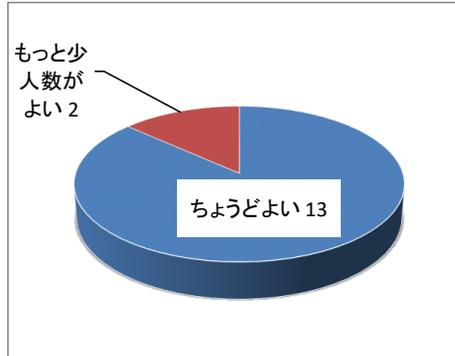
問1 参加グループ（委員会別）（人）



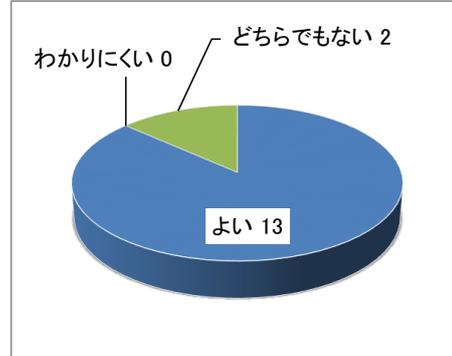
問2 意見交換の時間（人）



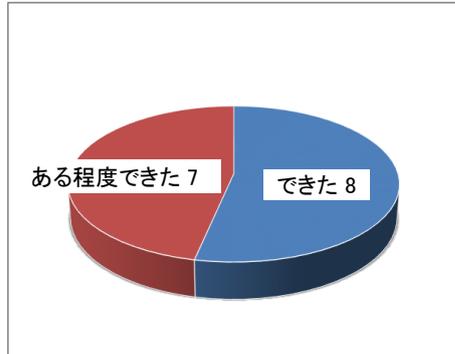
問3 参加人数（人）



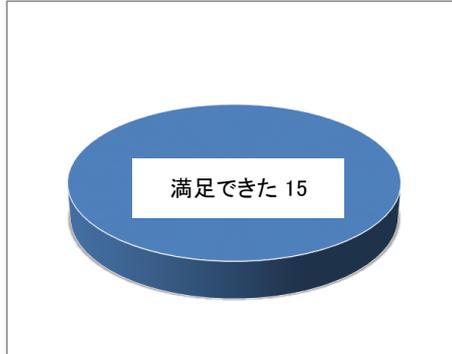
問4 意見交換会のテーマ（人）



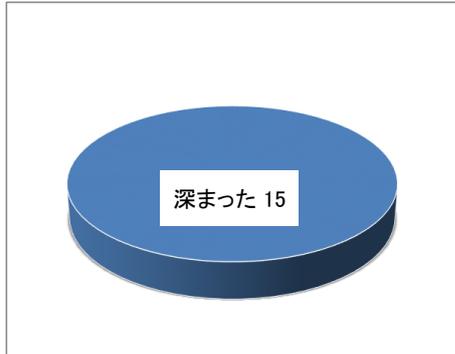
問5 発言（人）



問6 満足度（人）



問7 政治・議会に対する理解（人）



問8 市政について、どのような関心があるか。どのようなことを議論したいか。

- ・市民の生活の現状がどのくらい伝わっているか。
- ・公共施設のより有益な利用法について。
- ・海ごみを減らすことから発展して、サステナブルな生活ができるようにできることを議論したい。
- ・私は環境問題に関心があるので、「ゼロカーボンシティ」宣言をして、何を行っているのか、また、私たちが何をできるのかを知りたいです。
- ・学生の支援
- ・どのように議会で決定したものを伝達しているのかを知りたい。
- ・空き家問題
- ・観光客増加の方法
- ・交通事故を減らす方法
- ・交通事故が多いこと
- ・一人で暮らすお年寄りがいること
- ・学校教育の課題(不登校、教育格差)
- ・選挙参加率
- ・今回の意見交換会を通して認知症の方々への支援について関心が深まりました。また、LGBTの方々暮らしやすい町づくりをするためには何ができるかなどを議論したいです。
- ・教育
- ・児童虐待や不登校など子どもに関わることについて議論したいです。
- ・学校の設備増設
- ・高松の様々な課題について関心がある。
- ・教育制度

問9 感想・議会に対する意見等

- ・身近な問題であるプラスチックごみについて、若い世代の考えを言える機会をつくってくださりありがとうございました。世界規模の問題ですが、この高松の地から有効な対策が発信されていくと考えるとすごく楽しみです。1人1人の意識が大切なので、長期間にわたる取り組みでは「たのしい」「おもしろい」という感覚は非常に大事だと思います。ありがとうございました。
- ・議員の方々とお話する機会はなかなかないので、良い経験になったと思う。自分のモヤモヤが晴れた部分もあれば、新たに気づけた問題点もあった。海ごみを減らすというのは簡単に解決できる問題ではないけど、少しずつ進めていかなければと思った。
- ・私たちの意見を熱心に聞いてくださって、とてもうれしかったです。私はマイボトルをよく持ち歩いているので、給水機の設置をぜひお願いしたいです。
- ・とても話しやすかったし、伝えたいことをしっかり伝えることができました。
- ・普通なら話す機会のない市議会議員の方と話すのはとても緊張しました。うまく話せない部分もありましたが、話しやすい場の雰囲気のおかげでなんとかなり良かったです。
- ・貴重な体験になりました。話しやすい雰囲気を作ってくれていたのでも、自分の考えを話すことができました。遠くに感じていた市議会という組織が少し近くに感じられました。先日言いそびれしまったのですが、自治会についての説明をYoutubeなどにあげると若者は分かりやすいのかなという意見がありました。
- 先日は本当にありがとうございました。
- ・今まであまり縁がなかった市政について「当事者の立場」に立って考えることができました。「他人まかせ」では、皆が住みやすい高松は完成しません。そして、私たち自身が高松のためにできることがあるんだと感じることができました。参加してよかったと心から思え、これからも続いてほしいなと思います。
- ・私は今まで、政治は自分とはあまり関係がないと思っていて遠く感じていました。しかし、今回この意見交換会をしたことで政治の面でも私たち高校生にできることがたくさんあるということを知りました。実際に議員の方々とお話できる機会はあまりないと思うので、参加してよかったなと思いました。
- ・自分たちの意見が言いやすかったです。普段市がかかえている問題について考えるという機会があまりなかったのでも、今回参加させていただき、とても興味深い意見交換ができました。色々調べてみて知れて良かったです。
- ・初めての経験で不安なことが多い中、議員の方々のあたたかい雰囲気の中でお話できて、安心して議会に参加することができました。
- 生徒の中でも大人の方でも様々な意見や考え方に触れることができ、高松の未来を担っていく私たちが行動に移していく必要があると思いました。
- 貴重なお時間をありがとうございました。
- ・実際に体験などができて良かった。楽しい雰囲気を作ってくれて、話しやすかった。
- ・何かについて議論することがあまりないのでいい体験になった。もっとふやしてほしい。
- ・市政や議員の仕事への関心、理解が深まった。

問10 高松市が住みやすい魅力ある都市となるためには、どのようなまちづくりをしていけばよいか。

・市民の小さな意見からヒントを得て様々な意見をバランスよく組み合わせたまちづくり案をつくることだと思います。一番高松市を知っているのは高松市民だからです。私の体験から具体的な例を挙げると、道路の整備やカーブミラーの増設、市主催のイベントの増加等です。

・今回の議題に対して具体的な対策が行われていることがアピールできればいいと思う。高松市に限らず注目されている問題なので、それらが改善されているというのは魅力の一つだと思う。

・市議会で話されている内容をもっとオープンにしたら、市民も意識を持ちやすいと思います。

・地域おこし、商店街の繁栄

・高齢者だけでなく、若者もすこしやすくなるようなまちづくり。

・市民の意見がよく反映され、どのような年齢・性別の人からしても住みやすい町にする。

・アットホームで、「ここが地元」という感じがすると住み良いと思います。

・希薄になりつつある地域のつながりを、「昔のように」ではなく、「新しく」するために、何ができるのか、市民ひとりひとりが考えられれば良いと思いました。

・地域の関わりを活発にして高齢者、子ども、子育て世代の親、障害のある方、すべての人が暮らしやすい町づくりをしていけばいいと思う。

そのために、登下校の子どもの見守りをしたり、介護・子育ての支援を地域の人々で行ったり、一人暮らしの高齢者の方々とかかわる機会を増やすといいと思う。

・当事者の視点でものごとを考えて問題を解決する。細かいところまで考える。

・地域住民間でのつながりを意識した誰もが声を掛け合いながら、支えながら様々な人が共存していけるまちづくり

・一人一人の意識づけのために、情報を多く流していく。

・今回のように多くの人が集い話しあい、街づくりをしていけばよいと思う。

・郊外への公共交通機関の進出。小さな核をつくり、高松市中心部と郊外を接続すれば郊外から中心部へ行きやすくなる。伏石駅みたいな感じです。